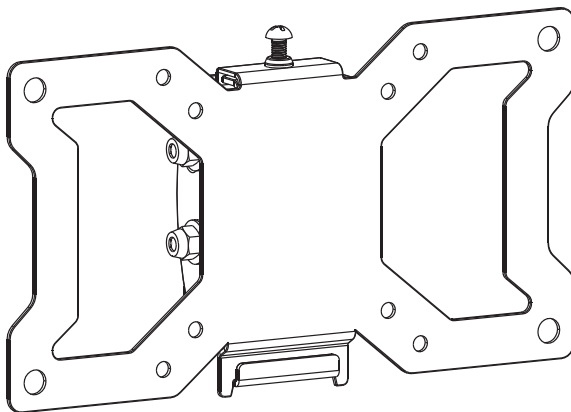


薄型テレビ壁掛け VESA 規格金具
TV セッターチルト

EI 112

設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y(日曜大工)が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 75×75mm, 100×100mm 100×200mm VESA 規格	26-46 インチ	20 kg

設置にあたって：必ずお読みください



必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。

コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。

設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。

以下の場所には設置をしないでください。

- ・振動があるような不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

1) 間柱センサー

壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。

細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。

2) ドライバー

ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。

3) ドリルドライバー

電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。

4) ペン

壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。

5) メジャー

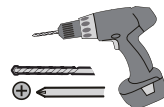
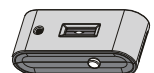
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用することがあります。

6) 柔らかい布

設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

7) 軍手

手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。



さあ、設置・・・の前に

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 75×75mm, 100×100mm 100×200mm VESA 規格	26-46 インチ	20kg

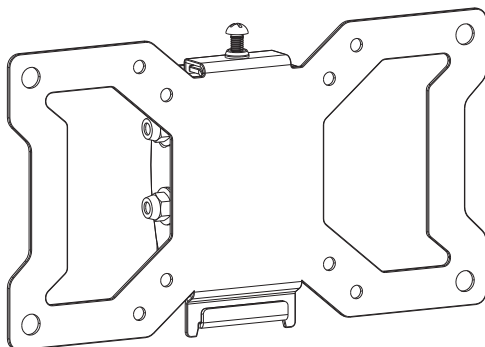
設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

テレビ金具本体

A



ネジパッケージ M (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

M-A



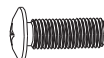
M4×14mm
ボルト - 4 本

M-B



M5×14mm
ボルト - 4 本

M-C



M6×14mm
ボルト - 4 本

M-D



M8×20mm
ボルト - 4 本

M-E



M5 ワッシャー - 4 個

M-F



M8 ワッシャー - 4 個

M-G



スペーサー - 8 個

ネジパッケージ W (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

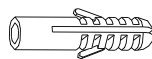
壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

W-A



壁用ラグボルト
5.5×50mm - 2 本

W-B

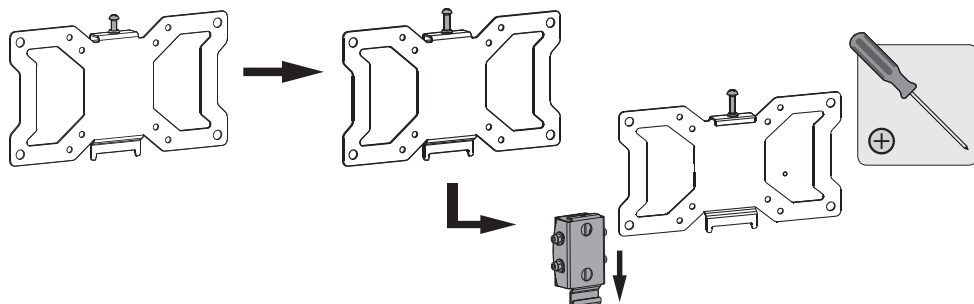


コンクリート壁用
アンカー - 2 本

壁の状態によって、少し短めのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご相談下さい。

ステップ 1

テレビ金具本体の分割

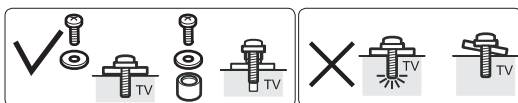


上図を参考にして、プラスドライバーで上部ネジを外します。テレビ金具本体を2つに分離出来るようになります。外したネジは後程使いますので、無くさない様にしてください。

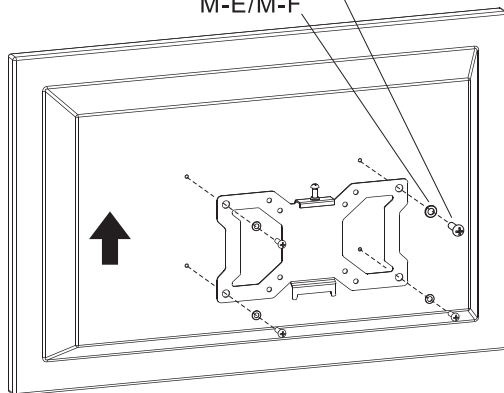
ステップ 2

テレビブラケットの取り付け

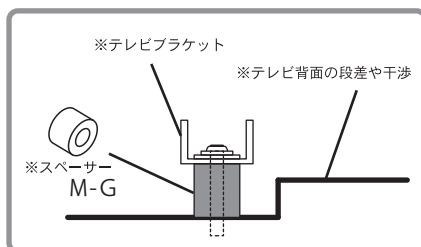
ステップ1で取り外したテレビブラケットをテレビに取付します。下記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにしてください。ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A ~ M-D] とワッシャー [M-E、M-F] で取付します。テレビに合うネジを使用してください。



M-A/M-B/M-C/M-D
M-E/M-F



テレビ背面に段差があった場合 あるいは、ネジが長く余る場合



テレビに段差があったり、ネジが長すぎる場合、付属のスペーサーを使って、段差などを埋めます。上図を参考にしてください。



- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ネジが合わない場合、取付可能テレビ (VESA 規格対応) で無い事になります。お取付が出来ませんので設置作業を中止してください。

ステップ 3

壁面への金具の取り付け - その1



テレビ壁掛けの最重要ステップです。取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。

石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分にご注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500 円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。

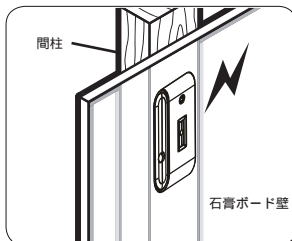
間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

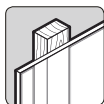
コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

石膏ボード壁は間柱に！



一般的石膏ボード壁の場合
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。



間柱に設置を



壁裏センサー



マーキング

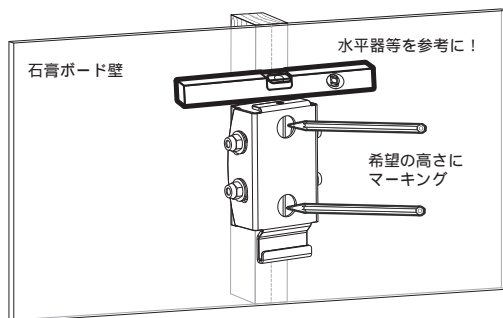


壁へのネジ打ち

1) 設置位置の確定

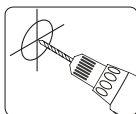
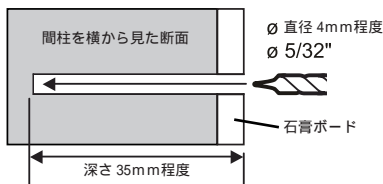
現在の主流である石膏ボード壁の場合、右記を参考に壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。間柱は一般的に 40 ~ 45 センチ幅で設置されている事が多いようです。

間柱が確定したら、上下 2 か所、ネジ穴にマーキングをします。



2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の下穴を上下 2 か所開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。



下穴は真っ直ぐに開けるよう注意を

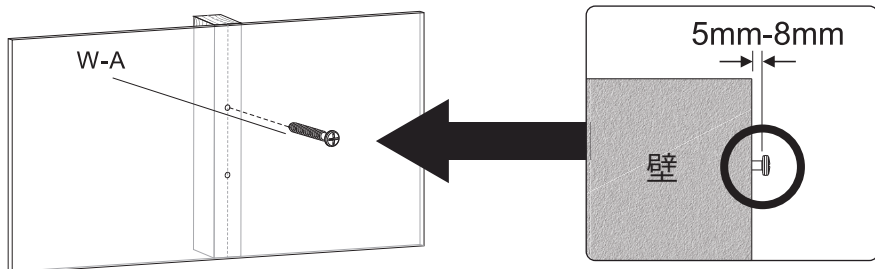
ネジの下穴を開けると、後の設置作業が楽になります。

ステップ4

壁面への金具の取り付け - その2

1) 上部ネジ、1本の打ち込み ~ まずは、上部ネジ1本を打ち込みます。

5.5×50mmラグボルト [W-A] を上部のみに1本打ち込みます。この際、下図を参考に「ネジ頭を浮かせます」。

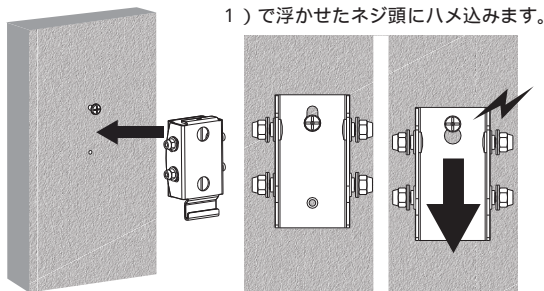


5 ~ 8 mm程度、ネジ頭を浮かせて
上部ネジを打ち込みます。

ご注意

2) 壁面プレートを引っ掛けます。

下図を参考にして、プレートを引っ掛けて下までガッチリ
とハメ込みます。



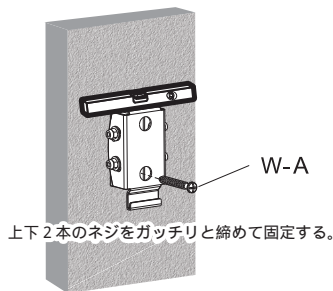
壁掛け最重要ポイント

2か所のネジ打ち時に少しでも違和感を感じたら、設置を中断して専門業者にご相談ください。

ご注意

3) 2本の上下ネジを締めます。

水平を取りながら、上下のネジをシッカリ
と打ち込みます。



ステップ5

テレビを掛ける前の事前準備



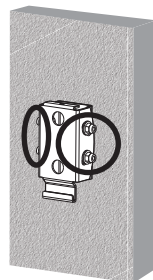
10kg

以上のテレビを掛ける方は、事前に
金具左右のナットの調節をして下さい。

ご注意

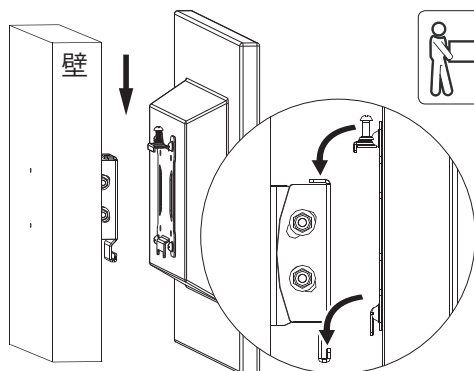
金具の左右・上下、合計4か所のナットの「締め強度」で金具の上下角度の強度調節をします。
10kg 以上のテレビを掛ける方は、事前にナットを強めに締めておくと、設置後にテレビが前垂れしませんが、テレビを掛けた後に「前垂れ」する場合、ナットを更に強く締めるようにしてください。

左右4か所のナットを締めて調節



ステップ 6

テレビを壁に引っかけます



1) テレビを壁の金具に引っかけます。安全を考え、必ず2名以上で作業するようにしてください。

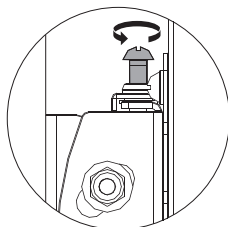
2) 下側の引っ掛けに必ずベロがはまっている事を確認してください。



慎重に作業してください。テレビが落下してケガ等が発生しない様に細心の注意をしてください。

ステップ 7

上部のネジを止めてロックします



ステップ1で外したネジを使用して、金具をロックします。

左図を参考にして、金具上部のネジをドライバーで締めます。上からネジ穴を良く見て、ズレているようであれば、テレビを軽く押してネジ穴を合わせて締めるようにしてください。

ステップ1で付いていたネジですので、必ず締まります。

ステップ 8

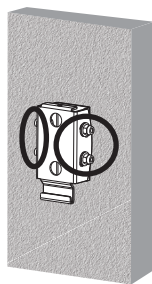
上下の角度調節、テレビが垂れてしまう場合



左右4カ所のナットを
締めて調節

当金具は、通常工具を使わずにお好みの上下角度にテレビを調節出来ます。もし、設置後テレビが前垂れしてしまう場合、一旦テレビを外して壁側の金具の両脇についている4か所のナットを締める事で調節が可能になります。

金具の左右・上下、合計4か所のナットの「締め強度」で金具の上下角度の強度調節をします。10kg以上のテレビを掛ける方は、事前にナットを強めに締めておくと、設置後にテレビが前垂れしません。テレビを掛けた後に「前垂れ」する場合、一旦テレビを降ろして、ナットを更に強く締めるようにしてください。



ステップ 9

取付の終了と確認

各取り付け部分や壁面にガタつき等がないか、チェックしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締め直しましょう。少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。

これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。